

給湯器内水
を非常用に
使いましょう!

家庭の給湯器内の水を使用する際の方法と手順

厳しい冬の悪天候、地震などの天災。そんな非常事態が発生した時、家庭の給湯システムが使えなくなることがあります。その際、給湯器内にある溜水を使うことが可能です。通常、貯湯式給湯器の中には、30ガロン（約135ℓ）から80ガロン（約360ℓ）の水が溜められています。その水を飲料、料理、洗濯用として使用することができます。（ただし、タンクの無い型の給湯器には該当しません。）

給湯器を操作する前に注意する点

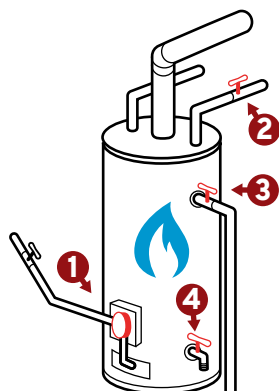
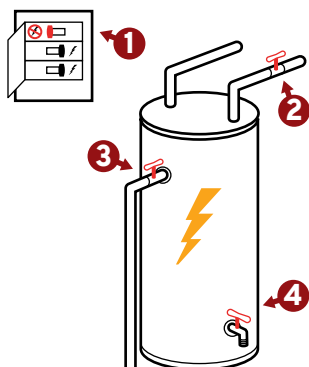
- ・給湯器が置かれている場所を確認する。戸建てでは、地下や車庫などに設置されています。アパートやコンドミニウムなどでは、クローゼットに設置されていることが多いです。
- ・各家庭の給湯器の電源を切る。地震などの天災の後には、必ず電源を切ることが大切です。これにより、給湯器の中に確実に水が溜め込まれた状態が保持できます。同時に、器内の水を良質に保つことに繋がります。また、非常時には給水バルブ自体も必ずしっかりと閉めることも必要です。各家庭の地下、床下、車庫などに設置されていますので、その場所を事前に確認しておきましょう。

取水方法と手順

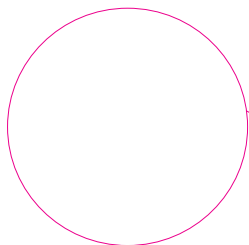
① 家庭用の給湯器の電源を切る。電源を必ず切ることで、安全を確保します。【この作業に入る前に、手元に懐中電灯、手袋、安全ゴーグル、スクリュードライバーなどを置いておくとお便利です。】

電気給湯器の場合 家庭の電源パネルにある「給湯器」表示の電源を切る。【非常事態になる前に、ブレーカーの位置を確認しておくことをお勧めします。】

ガス給湯器の場合 給湯器にあるオン・オフのスイッチを確認。そして、「種火」に設定をします。ただし、完全にオフにして火を消さないようにしてください。



引き続き、裏面の説明確認してください。→



2 給湯器の水源となる給水バルブを止める。時計周り（右回転）に回して止めます。バルブの位置は、給湯器の上部分にあります。

3 給湯器の中に空気を入れる。タンクの内側にあるリリース・バルブの位置を確認する。ハンドルを回し、各機種型に沿ってバルブを開く。（あるいは、台所にある給湯器自体の蛇口をひねることで空気は入ります。）こうして空気を入れることによって、給湯器から取水が可能になります。

4 給湯器の下の部分にある排水弁から取水をする。【注：取水中は、熱湯が出る場合があります。この作業の前には、手袋と安全ゴーグルの使用を推奨します。】

まず、きれいな容器を排水弁の下に置く。排水弁をオンにする、又は排水弁を左に回して水を取り出す。水を止めるのには、弁を右に回す。これを必要に応じて、タンクの中が空になるまで繰り返します。

取り出した水を飲料、食用、洗濯などに使用する際には、消毒や濾過処理が必要です。その処理の方法と手順

- ・ 取水を少なくとも1分間、沸騰させ熱処理をする。ホコリなどが入らないようにして、自然冷却をする。

— または —

- ・ 容器を使用しての消毒法。

容器の消毒 漂白溶液（4カップの水に対し、小さじ1杯の無香料漂白剤）を作る。その溶液を容器に入れ、内部全体にいきわたるように振り消毒をする。溶液を流し捨て、自然空気乾燥をさせる。その後、

取り水の消毒 取出水を消毒済みの容器に入れる。水1ガロン（4.54リットル）につき、小さじ1/8の漂白剤（無香料）を加える。

— または —

- ・ 家庭用濾過機を使用し、バクテリアや寄生虫を除去する。（使用の際には、説明書にある使用上の注意に従ってください。）

給湯器のメンテナンスの注意事項

各家庭の給湯器内の水質維持には、定期メンテナンスと点検が重要です。

- ・ 給湯器は、壁に沿って適切な固定をすることが大切です。天災発生時でも、しっかりと壁に固定され続けるかどうか。その安全性を確認しましょう。
- ・ 年に一度は、給湯器内にある水を排出して入れ替えをしましょう。

本地域の水道供給協会（リージョナル・ウォーター・プロバイダー・コンソーシアム）は、ポートランド市を含むメトロ地域の水道供給の計画と管理改善のための共同組織です。尚、組織の詳細、緊急災害対策事業、水質保全、地域調査などにつきましては、ウェブサイトをご覧ください。

www.regionalh2o.org

